

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年4月25日
【四半期会計期間】	第32期第1四半期（自平成25年1月1日至平成25年3月31日）
【会社名】	株式会社ブロンコビリー
【英訳名】	BRONCO BILLY Co., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 竹市 克弘
【本店の所在の場所】	愛知県名古屋市名東区平和が丘一丁目75番地
【電話番号】	052 - 775 - 8000（代）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 古田 光浩
【最寄りの連絡場所】	愛知県名古屋市名東区平和が丘一丁目75番地
【電話番号】	052 - 775 - 8000（代）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 古田 光浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第1四半期 累計期間	第32期 第1四半期 累計期間	第31期
会計期間	自平成24年 1月1日 至平成24年 3月31日	自平成25年 1月1日 至平成25年 3月31日	自平成24年 1月1日 至平成24年 12月31日
売上高(千円)	2,543,939	2,731,714	9,983,899
経常利益(千円)	398,426	419,458	1,432,785
四半期(当期)純利益(千円)	207,141	250,283	869,820
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	803,337	803,337	803,337
発行済株式総数(株)	3,315,000	3,315,000	3,315,000
純資産額(千円)	5,770,331	6,536,286	6,372,349
総資産額(千円)	7,290,708	8,271,261	7,763,577
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	62.49	75.50	262.39
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	48.00
自己資本比率(%)	79.1	79.0	82.1

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権下での金融緩和をはじめとする経済成長戦略への期待感から、円安・株高が進行する等、景気回復への明るい兆しが見られたものの、海外景気の下振れによる影響が懸念されるなど、依然として景気動向は不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましても、市場規模の縮小傾向に歯止めがかかりつつありますが、雇用・所得環境の先行き不安から、消費者の節約志向は強く、当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

当社では、このような環境の下「お客様の立場で顧客創造」「お客様の立場で進化と経営日本一」の企業理念に基づき、絶えず進化し続ける事によって経営内容で日本一を目標に、ご家庭では味わうことができない料理とサービスを提供する「ご馳走レストラン」として、食材の調達力、商品開発と加工力、調理技術、接客サービスの更なる強化に取り組みました。その結果、当第1四半期累計期間では、既存店売上高は前年同期比2.6%増となり、全体でも売上高前年同期比7.4%増、四半期純利益前年同期比20.8%増となりました。

メニュー政策では、価値と価格の両方を追求すべく、当第1四半期でもメニュー改訂を実施いたしました。メニューも絶えず進化することを大切に考え、ステーキ専門店としてこだわったハンバーグメニューを前期末のがんこハンバーグに続き、2月は580円（税別）のハンバーグランチを進化させました。3月も当社の看板商品のぶどう牛の肩ロースステーキを150g1,780円（税別）でランチメニューに追加し、更にステーキのコンピメニュー（ご馳走サーロインステーキ&プレミアムブロンコステーキセット等）や人気のがんこハンバーグもトッピングのバリエーションを増やしました。これらの効果で、既存店客数は、前年同期比1.0%増、客単価は前年同期比1.5%増と売上高増に寄与いたしました。

販促面では、お食事券が当たるスクラッチカードやスタンプカード、キッズクラブのお誕生日企画に加え、卒園・卒業のお子様を対象としたDM販促により、再来店促進と顧客作りに継続して取り組みました。また、3月22日にホームページの全面リニューアルを実施し、同時にモバイル対応も行い、店舗案内ページ等をより見やすく、使いやすいデザインに変更いたしました。今後も販売促進ツールとして強化してまいります。

店舗面では、千葉県初出店となる東千葉店、更に静岡県に沼津店と計2店舗を出店、一方で不採算店舗1店舗を閉鎖し、2013年3月末日の店舗数は71店舗となりました。

また、組織機構として営業本部を新設、増加する新店を早期に軌道にのせるための新店専任のマネージャーや人材教育課も増員するなど、営業力の強化を図っております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高27億31百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益4億17百万円（同5.3%増）、経常利益4億19百万円（同5.3%増）、四半期純利益2億50百万円（同20.8%増）となりました。

(2) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は82億71百万円(前事業年度末77億63百万円)となり5億7百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が4億17百万円及び有形固定資産が1億49百万円増加したこと等によります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は17億34百万円(前事業年度末13億91百万円)となり3億43百万円増加いたしました。その主な要因は、買掛金が55百万円、未払金が1億53百万円及び短期借入金が1億94百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は65億36百万円(前事業年度末63億72百万円)となり1億63百万円増加し、自己資本比率は79.0%(前事業年度末82.1%)となりました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払により繰越利益剰余金が1億58百万円増加したこと等によります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,260,000
計	11,260,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年4月25日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	3,315,000	3,315,000	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数100株
計	3,315,000	3,315,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年1月1日～ 平成25年3月31日	-	3,315,000	-	803,337	-	713,337

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,314,100	33,141	単元株式数100株
単元未満株式	普通株式 900		
発行済株式総数	3,315,000		
総株主の議決権		33,141	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式53株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
計					

(注) 当事業年度末日現在の自己株式数は、53株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,976,581	3,393,953
売掛金	68,333	85,557
商品及び製品	42,387	23,622
原材料及び貯蔵品	191,715	152,782
その他	217,508	167,411
流動資産合計	3,496,525	3,823,327
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,431,997	2,514,722
構築物(純額)	225,178	242,762
工具、器具及び備品(純額)	297,025	325,103
土地	276,207	276,207
その他(純額)	76,176	96,948
有形固定資産合計	3,306,586	3,455,744
無形固定資産		
投資その他の資産	86,271	85,936
差入保証金	576,608	601,730
その他	297,585	304,521
投資その他の資産合計	874,194	906,252
固定資産合計	4,267,052	4,447,933
資産合計	7,763,577	8,271,261
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	204,403	259,468
短期借入金	96,552	291,003
未払金	399,605	553,167
未払法人税等	323,670	173,109
賞与引当金	16,423	76,546
販売促進引当金	32,877	19,468
その他	102,506	139,472
流動負債合計	1,176,038	1,512,234
固定負債		
資産除去債務	196,042	202,228
その他	19,147	20,512
固定負債合計	215,190	222,740
負債合計	1,391,228	1,734,975



	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	803,337	803,337
資本剰余金	713,337	713,337
利益剰余金	4,849,606	5,007,071
自己株式	112	112
株主資本合計	6,366,168	6,523,633
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,180	12,652
評価・換算差額等合計	6,180	12,652
純資産合計	6,372,349	6,536,286
負債純資産合計	7,763,577	8,271,261

( 2 ) 【四半期損益計算書】  
【第 1 四半期累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 3月31日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 3月31日)
売上高	2,543,939	2,731,714
売上原価	689,597	727,812
売上総利益	1,854,342	2,003,902
販売費及び一般管理費	1,457,829	1,586,476
営業利益	396,512	417,426
営業外収益		
受取利息	496	543
受取賃貸料	5,160	5,670
受取保険金	3,852	281
協賛金収入	2,124	1,938
その他	373	172
営業外収益合計	12,005	8,605
営業外費用		
支払利息	189	205
賃貸費用	4,835	5,299
盗難損失	4,021	-
その他	1,045	1,068
営業外費用合計	10,091	6,573
経常利益	398,426	419,458
特別利益		
固定資産売却益	1,000	2,000
特別利益合計	1,000	2,000
特別損失		
固定資産除売却損	201	864
災害による損失	34,891	-
特別損失合計	35,092	864
税引前四半期純利益	364,333	420,594
法人税、住民税及び事業税	156,833	167,154
法人税等調整額	357	3,155
法人税等合計	157,191	170,310
四半期純利益	207,141	250,283

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
減価償却費	97,932千円	96,147千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月22日 定時株主総会	普通株式	66,299	20	平成23年12月31日	平成24年3月23日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月17日 取締役会	普通株式	92,818	28	平成24年12月31日	平成25年3月22日	利益剰余金

(注) 普通配当20円 記念配当8円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)及び当第1四半期累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	62円49銭	75円50銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	207,141	250,283
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	207,141	250,283
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,314	3,314

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成25年1月17日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 92,818千円

1株当たりの金額 28円00銭

支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年3月22日

(注) 平成24年12月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年4月25日

株式会社ブロンコピリー  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡野 英生 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 楠元 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ブロンコピリーの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの第32期事業年度の第1四半期会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ブロンコピリーの平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。